

写真の印象は「白」で決まる

第四回目のテーマは「紙の“白の色”」です。ペーパーを見比べると、同じような白いペーパーでもやや青みかかっていたり暖かい印象であったりと、傾向が異なることがわかるはずです。写真の印象を大きく左右する紙の白さは、とても大切なポイントのひとつです。

1 紙の「白」を考えることが大切な理由

一般的な写真用プリンターには、白インクは搭載されていません。つまり、画像における白い部分は「インクを吹かない」ことによって再現します。写真の白＝ペーパーの白といえるため、選び方ひとつで印象も雰囲気も大きく変わります。

クールトーン



※イメージ

ペーパーの白が、やや青みやグレーに寄っているクールトーン

- 澄んだイメージに
- ドレスやシャツも輝かしく
- 晴れやかな印象
- 明るい未来をつなぐ

色彩をクリアに再現したいのであれば、トーンのブレの少ないペーパーを選ぶと◎。クールトーンの白さは、スタイリッシュな表現も得意です。

ウォームトーン

ペーパーの白がやや黄みや赤みに寄っているウォームトーン

- あたたかなイメージに
- ドレスやシャツはクラシカルに
- 落ち着いた印象
- やさしい未来をつなぐ

木漏れ日や落ち葉といった「秋らしい」印象や、ノスタルジックな表現も得意なウォームトーン。



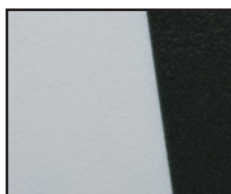
※イメージ

vol.04 写真の印象は「白」で決まる

2 ギャラリーシリーズのペーパーを「紙の白さ」で見る

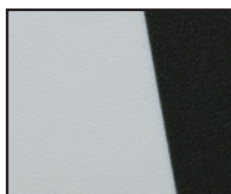
RC ペーパー（半光沢・微粒面）

サテンフォト

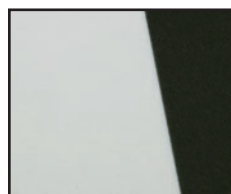


クールトーン

スムースパール



モノシルク
ウォームトーン



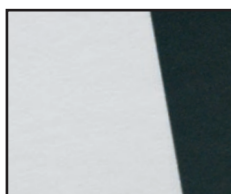
ウォームトーン

一般的な RC ペーパーは、クールトーン寄りの製品が多いです。

※イメージ

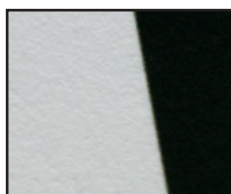
マットペーパー

ヘビーウエイト
デュオマット

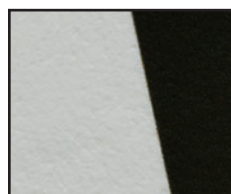


クールトーン

スムース
コットンラグ



スムース
コットンソノラ



ウォームトーン

ややウォームトーンのペーパーは、鮮やかな色表現とあたたかな雰囲気兼ね備える、万能ペーパーでもあります。

※イメージ

トーンには段階があります

紙を白くする「蛍光増白剤」とは？

普段目にしている普通紙やノートといった紙は、蛍光増白剤を用いて紙を「より白く」見せる処理がされています（多くの洗濯洗剤にも含まれています）。先述の通り、フォトペーパー・ファインアートペーパーの表現の一環として、ペーパーの白が重要なファクターとなるので、蛍光増白剤が使用されているペーパーも少なくありません。

「蛍光増白剤を使用している＝長期保存には向かない（劣化する）」と考えられえることも多いですが、実は一概にそうとは限りません。蛍光増白剤を使用しているペーパーでも、製品開発段階で「アシッドフリー」で設計を行ったり、紙の長期保存に関する国際基準 ISO9706 の取得、外部試験機関のレポートの取得などで、信頼できる付加価値を示したペーパーが存在します。長期保存性を第一に求めてペーパーをお探しの場合は、こういったワードを辿りペーパーを選択するといいいでしょう。

お問い合わせはこちらまで

ジェットグラフ株式会社
<http://www.jetgraph.jp/>

本 社：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-6-2
営業所：東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡
Mail：support@jetgraph.jp